

## 5月の都内経済状況

営業開発部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		5月の都内の景気は緩やかに回復している。百貨店・スーパー・コンビニエンスストアの売上は、いずれも前年を上回った。乗用車販売は再び前年を下回った。住宅着工は4ヵ月ぶりに減少し、公共投資は3ヵ月連続で増加した。輸出は11ヵ月連続で増加した。有効求人倍率は2ヵ月連続で上昇した。工業生産(4月)は3ヵ月ぶりに前月から増加した。27年度上期の設備投資計画(法人企業)は、各規模層とも増加見込みとなっている。同期の経常損益(同)は、大企業は減益見込み、中堅企業、中小企業は増益見込みとなっている。
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は引き続き緩やかな回復が期待されるが、中国やヨーロッパなど海外景気の下振れなどが今後のリスク要因となっている。
個人消費	百貨店売上高	 百貨店売上高は、好天に恵まれたことや休日増、インバウンド消費の伸びなどに加え、昨年が消費税率引上げの影響で落ち込んだことの反動もあって、前年同月比同10.4%増と2ヵ月連続で2桁の増加を記録した(既存店ベース)。衣料品、雑貨、食料品などの主要品目は、前月に続いていずれも前年を上回った。
	スーパー売上高	 スーパーの売上高は、気温の上昇、休日増、農産物の相場高などの影響で、前年同月比4.5%増と2ヵ月連続で前年を上回った(既存店ベース)。
	コンビニ売上(関東)	 関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比6.0%増と27ヵ月連続で前年を上回った(全店ベース)。既存店ベースの売上は、同1.5%増と2ヵ月連続で前年を上回った。
	乗用車登録台数	 乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比▲5.1%と再び前年を下回った。車種別では、普通車(同5.5%増)は前年を上回ったが、小型車(同▲13.5%)、軽乗用車(同▲16.0%)は前年を下回った。4月から増税となった軽乗用車は、5ヵ月連続で2桁の減少となっている。
住宅建設	 住宅着工戸数は、前年同月比▲6.9%と4ヵ月ぶりに前年を下回った。利用関係別では、分譲マンション(同19.7%増)は増加したが、持家(同▲13.5%)、分譲一戸建て(同▲24.0%)、貸家(同▲15.8%)は減少した。	
公共投資	 公共工事請負金額は、前年同月比101.0%増と3ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から50.7ポイント拡大した。発注者別でも、国(同94.6%増)、独立行政法人(同628.1%増)、東京都(同5.1%増)、市区町村(同33.3%増)、地方公社(同109.1%増)がいずれも増加した。	
貿易(東京税関管内)	 東京税関管内の輸出額は前年同月比7.3%増と11ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から11.5ポイント縮小した。主要地域別では、アメリカ向け(同10.4%増)、EU向け(同2.6%増)、中国向け(同13.8%増)、アジアNIEs向け(同8.5%増)、ASEAN向け(同8.2%増)がいずれも前年を上回った。	
設備投資(法人企業)	 東京財務事務所「法人企業景気予測調査(27年4~6月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の27年度上期の設備投資計画額は、全規模が前年同期比23.0%増の増加見込みで、規模別でも大企業(同23.5%増)、中堅企業(同13.3%増)、中小企業(同30.9%増)がいずれも増加見込みとなっている。	
企業収益(法人企業)	 同上調査によると、都内の法人企業(同上)の27年度上期の経常損益は、全規模が前年同期比▲2.9%の減益見込みで、規模別では大企業(同▲3.1%)が減益見込み、中堅企業(同2.8%増)、中小企業(同14.8%増)が増益見込みとなっている。	
労働需給	 有効求人倍率(季調値)は1.71倍と、前月から0.04ポイント上昇した。1.71倍という水準は平成2年11月以来24年半ぶりの高水準。先行指標とされる新規求人数は前年同月比▲6.8%と2ヵ月連続で前年を下回った。南関東の完全失業率は3.7%で、前月から0.1ポイント上昇した。完全失業率の悪化は2ヵ月連続。	
企業倒産	 企業倒産件数は前年同月比▲29.6%と8ヵ月連続で減少し、負債総額も同▲71.7%と2ヵ月ぶりに減少した。1~5月累計の倒産件数は全体が前年同期比▲14.7%で、業種別では製造業(同▲15.8%)、建設業(同▲25.9%)、小売業(同▲21.3%)などが減少し、サービス業(同7.5%増)、卸売業(同2.7%増)などが増加した。	
資金需要(銀行)	 銀行の都内向け貸出残高は前年同月比4.7%増と45ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から0.6ポイント拡大した。増加幅の拡大は4ヵ月連続。	

工業生産指数(季調値) ( )は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ( )は前年同月比%	消費者物価指数 ( )は前年同月比%	(一)口メモ 東京都春季賃上げ妥結状況
2月 101.1 (▲3.7)	2月 99.3 (▲19.1)	3月 102.1 ( 2.3)	東京都が集計した都内民間479労組の2015年春季賃上げ平均妥結額は、6,546円であった。これは平均賃金(38.9歳、311,930円)の2.10%に相当し、賃上げ率が2%を超えるのは2年連続。また、同一労組の前年妥結額(5,992円)との比較では、金額で554円、率では9.25%上回った。
3月 98.4 (▲7.0)	3月 113.2 (▲11.5)	4月 102.4 ( 0.7)	
4月 102.5 (▲1.7)	4月 106.6 (▲12.5)	5月 102.6 ( 0.5)	

\*工業生産指数・在庫指数、消費者物価指数は2010年平均=100。\*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨